



令和7年4月1日
墨田区立桜堤中学校
校長 吉岡 大司

令和7年度 学校経営方針

「つなぐ伝統 築こう未来」のスローガンを掲げ、「人と人とのつながり」や「体験の充実」を一層、重視することをめざします。

さて、本校は、開校以来、文武両道の精神のもと、教育目標「確かな知性」「豊かな感性」「健全な心身」を掲げ、地域や保護者の皆様とともに、墨田にある勢いのある学校をめざしデジタル教材を活用した学習を重視した教育を図ってきました。

生徒にとって、学校は学習の場であり、人間関係を学び体験する場でもあります。生徒一人ひとりのよさを引き出し、最大限に伸びるように支援し、全ての生徒が生き活きと学校生活を送れるようにすることが、私たち教師の使命でもあります。

その実現のためには、生徒一人ひとりの思いを丁寧に聴き、自己肯定感や自己効力感を高めさせ、生徒が「自分の未来を見つけられる」ように、私たちの思いも伝えていく。

このことで、生徒に「今日から、自分ができる、自分にしかできないこと」を考えさせたい。そして、「生徒が夢や希望をもって、保護者が子どもを安心して通わせたい、教職員がやりがいをもち働きやすい、」と感じる学校づくりをめざします。

今年も、4つの「CHA」を取り組みます。

蓄えた「経験知」を「**CHARGE**」チャージ(充電)し、「**CHANCE**」チャンス(好機)として捉え、「**CHALLENGE**」チャレンジ(挑戦)し、「**CHANGE**」チェンジ(変わる)する。

1 本校の教育目標（文武両道の精神のもと、以下の教育目標を定める

○ 確かな知性 ○ 豊かな感性 ○ 健全な心身

スローガン 「つなぐ伝統 築こう未来」

2 目指す学校像

- (1) 一人ひとりの生徒を大切にする学校
- (2) 「質」の高い教育活動を実現する学校
- (3) 地域・保護者と共につくる学校

3 目指す生徒像

- (1) 基礎学力を身に付け、自ら学び、将来の夢に向かって努力する生徒
- (2) 地域を愛し、思いやりの心を大切にして、自分の行動に責任をもつ生徒
- (3) 心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦する生徒

4 目指す教師像

- (1) 一人ひとりの生徒に目を向け、生徒のために全力で何事にも取り組む教師
- (2) 授業を第一に考え、授業力向上のための実践と研修に取り組み、常に創意工夫する情熱的な教師
- (3) すべての教育活動に積極的に取り組み、組織的に協働する教師

5 学校経営方針とその重点方策

(1) 確かな学力の向上

- ① 桜堤中スタンダードを基に、ICT機器やタブレット端末などを積極的に活用したデジタル学習を充実させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。
- ② 数学や英語は、「東京方式習熟度別指導ガイドライン」に沿った「個」に応じた学び。...
- ③ 子ども達の「できる」「分かる」までの学びを繰り返すことで、指導の充実を図る。...

- ④ 各種検定（漢検・英検・数検）を積極的に受検する支援を行う。
朝学習を活用したタイピング強化週間や5教科「コンテスト」を計画的に実施する。

（２）豊かな人間性の育成

- ① 社会生活の基礎となる桜堤中学校生活目標「あじみこし」（あ：挨拶、返事・じ：時間・み：身だしなみ・こ：言葉遣い・し：姿勢）を通して、授業規律・生活習慣を確立する。
- ② 日々の生徒観察やふれあい月間中に実施される教員やＳＣとの面談を適時に行う。「アンケート」を通して、「いじめ」等の早期発見に努める。さらに、必要に応じて、ＳＳＷ、地域、関係諸機関との連携を密にし、早期対応を行い、本校の「いじめ防止基本方針」に沿って組織的に対応する。
- ③ 道徳教育や系統的な横断的学習を通して、思いやりの心や自己効力感を育成する。
- ④ 学校行事や部活動、体験活動等を通して社会性を養い、生徒会活動、学級会活動、清掃活動等を通して、自治の意識を高めるとともに、挑戦する心、あきらめない心、困難を乗り越えようとする強い意志などのたくましさを涵養する。そして、そのリーダーや係生徒が、見通しを持った活動ができ、自信を持って発言、行動できる生徒を育てる。
- ⑤ 特別な支援が必要な生徒への配慮は、校内委員会や関係諸機関等の連携を通して、情報共有し、適切な対応を検討・実施する。必要に応じて、ＳＣや関係諸機関、特別支援教室（ゆうあい）との協力・連携を図り、効果的な教育活動を充実させる。

（３）豊かな個性と創造力の伸長

- ① ３年間のキャリア教育（１年「職業調べ」・２年「職場体験」・３年「進路決定」）
キャリア・パスポートを効果的に活用した「自己実現のための成果」を積み上げる。
- ② 文化的な活動（音楽・美術・日本の伝統文化、「すみだ北斎美術館」、「日本の伝統音楽」等）を充実させ、生徒の感性を高めるとともに豊かな情操を育む。
- ③ 国際感覚豊かなグローバルな視点をもち多文化や共生社会の理解を深めた生徒を育む。

（４）開かれた学校づくり

- ① 学校だより・学年だより・学級だよりや学校ホームページなどを通して積極的に日々の教育活動を発信する。学校ホームページは、適時更新を行う。
- ② 桜堤中ブロック幼保小中一貫教育における教職員間の情報交換、交流や連携と生徒・児童・園児間の交流を積極的に推進する。
- ③ 地域コミュニティとしての学校づくりをめざす。
教育機能や施設・設備の提供、家庭や地域の教育力の向上、地域行事（町会や青少年育成委員会）やPTA活動等に教員が積極的に参加して、地域交流・連携に努める。
- ④ 災害時における防災拠点として役割を果たすために、地域と連携した防災教育や防災授業を実践し、充実を図る。桜堤中学校は、東京都指定の広域避難場所内にある。自然災害が発生した際、避難所となる。ソーラーパネルによる発電設備やマンホールトイレ等緊急避難時に対応できる設備を備える施設であることを周知し、生徒・教職員が災害時に「自助・共助・公助」の活動ができるよう準備する。

（５）教職員の資質向上と「生き方・働き方改革」の推進

- ① 学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図るとともに、教職員の使命を自覚し、同僚性を高めながら、組織力と専門性の向上をめざす。
- ② 学びの主体は、生徒である。「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開できる授業力を身に付け、教育公務員としての使命感と情熱をもつこと。また、校長の学校経営方針に基づいて学力向上の取組を組織的に行う。特に、「教師は最大の教育環境」という考えに立ち、立ち居振る舞いや言葉遣い、服装・受容的な態度等、教師としての在り方に十分配慮する。（人権上の不注意や不適切な言動、体罰等の厳禁はあってはならない。）